

今回の探検先は… ●探検実施日:2010年3月30日(火)

社団法人 日本プロサッカーリーグ (Jリーグ事務局)

東京都文京区のJFAハウス内に位置するJリーグ事務局。チェアマン室や約40人のスタッフからなるフロアを中心に企画・運営が行われている。同じビル内には、オフィシャルグッズを扱う「Jリーグエンタープライズ」、映像を管理する「Jリーグメディアプロモーション」など関連会社があるほか「日本サッカーミュージアム」もあり、全国のサッカーファンが日々訪れている。

◆◆◆ 笑顔が優しい鬼武チエアマン

「Jリーグへようこそ」。鬼武チエアマンの優しい笑顔でスタートした「アイテムしごとと探検隊」。アイテムがオフィシャルスポンサーとして応援している



Jリーグに、隊員として小学生20名が訪れるのは、今年で4回目だ。「スタジアムでサッカーを観たことがある人は？」というチエアマンの問いかけに、子供達全員の手があがる。サッカー大好き子供たちが集まった今回の探検隊メンバーは、スタートから元気がいっぱい。ナビゲーターをつとめてくれるJリーグOBの城彰二さんが登場すると、子供達から大きな歓声があがった。

◆◆◆ 記事を書くことで サッカーを応援

サッカー新聞「エルゴラッソ」は、紙面全体がピンク色だ。「日本でもっとサッカーが盛んになってほしい」と願うもこめて、イタリアのサッカー新聞の色を参考にしています」と説明してくれたのは、記者の小島さん。「個人的に好きなチームがあっても、全チーム公平な記事が書けるように気をつけています」。選手に喜ばれる記事を書くだけでなく、時には、厳しい評価を書かなくてはならないことも。「そんな時は、選手とも気まづくなるし、ぼくたちも辛い。でも、日本のサッカーがより強くなるように願いながら、記事を書くのがぼくたちの仕事なんだ」という小島さんの説明を聞きながら、子供達はピンク色の紙面に見入っていた。



城 彰二 プロフィール

1994年 Jリーグ ジェフユナイテッド市原
(現、ジェフユナイテッド千葉)に加入
2000年 レアル・バリャドリード(スペイン)
2006年 横浜FCのキャプテンとして
J2優勝・J1昇格に貢献、現役引退

1996年 アトランタオリンピック日本代表
1998年 フランスワールドカップ日本代表

資格 財団法人日本サッカー協会公認
A級コーチライセンス



小学生がJリーグの仕事探検! 働くつて、大変だけど楽しそう。



◆◆◆ 選手の安全を守る審判員

はじめに仕事を紹介してくれたのは、Jリーグ担当審判員の岡田さん。ボールやホイッスル、時計など、審判員の道具をひとつひとつ丁寧に説明してくれた。子供達はメモをとるのに必死だ。「審判員として試合中に最も気をつけているのは、選手の安全を守ること」と、岡田さん。「選手にとって体は資本。けがにつながるような危険なプレーがあったら、すぐに止められるように、細心の注意を払っています」。そのためにも、選手と同じように、ボールについて走り続けなければならぬ。試合中には、審判員も日々のトレーニングが欠かせないそう。



◆◆◆ 生活そのものが サッカー選手の仕事

そして、いよいよ城さんの登場。「現役中は、楽しかったなあという思いと、大変だったなあという思いが半々です」。サッカー選手の仕事は、試合に出て活躍することだ。「そのためには、毎日のトレーニングは欠かせないし、マッサーなど体のメンテナンスも必要。そして何より、食事によって睡眠もしっかりとる。普段の生活もサッカー100%でした」。現在の城さんは、多くの人にサッカーの楽しさを伝えるため、全国でサッカースクールを開いたり、新聞・テレビなどでも活躍している。「どんな仕事でも楽しみなながらやるのが大切だと思う。だから、君たちも勉強やテストを楽しみながらがんばって」という城さんからのエールに、子供達も素直にうなずいていた。



◆◆◆ 工夫しつづける看板づくり

続いて登場した博報堂DYスポーツマーケティングの中村さんは、試合の映像を見せながら、スタジアムの看板について説明してくれた。ビデオでは、選手が勢いあまって、ゴール脇に立っている看板に突っこんでしまったように見える。「でも安心して。この看板は、布のようなものをゴール脇に広げただけ。テレビでは立体的に見えますが、実は平面なので選手も安全です」という中村さんの言葉に、「知ってる!」と笑顔になる子供達も多い。このほかにも、スタジアムの看板にはいろいろな種類があるそう。一試合で設置される看板の数は、多い時には50〜60個にもなる。試合開始の6〜7時間前にはスタジアムに到着し、10人ほどのスタッフで、約3時間かけて設置しているという。



◆◆◆ 仕事って楽しいーを感じた子供達

子供達はさらにJFAハウス内を見学。Tシャツなどの公式グッズを扱う「Jリーグエンタープライズ」や、全試合の映像を記録・管理する「Jリーグメディアプロモーション」からも説明を受けた。チェアマンルームではチェアマンの大きな椅子に座って記念撮影。事務局のフロアも見学した。最後は、城さんのガイドで日本サッカーミュージアムへ。楽しいひとときを過ごした。子供達に、今回の仕事探検について感想を聞くと、「自分の好きなことを仕事にしたい!」「楽しみなが仕事をしていた!」という答えばかり。Jリーグに携わる人たちの仕事に対するポジティブな気持ち、まっすぐに伝わったようだ。



感想コーナー

- 審判の道具はとても工夫がしてあったことがびっくりしました。
- Jリーグの審判や看板のことがわかった。
- みんな好きなことや、やってよかった仕事をしていて、いいなと思った。
- 働くって大変だったと思っていたけれど、自分の好きなことを楽しんでいます。
- Jリーグの仕事がよくわかったし、城さんに会えてよかった。



社団法人 日本プロサッカーリーグ
リーグプロデュースグループ
樋口 昌平さん



「Jリーグの仕事」と言うと、皆さんまずは選手を思い浮かべるとは思いますが、実は選手以外にもJリーグにかかわる色々な仕事があります。今回は審判、記者、看板の仕事をしているスタッフと元選手の城彰二さんが仕事の説明をしましたが、探検に参加してくれた20名の探検隊員全員がJリーグを観戦したことがあるということで、説明をするスタッフも力が入りました。また、是非Jリーグを探検し、そしてJリーグの試合を観戦しに来てください!

●「アイテムしごとと探検隊」ご協力をお願い

(株)アイテムでは、訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子供達が「仕事」について考える機会を一緒に提供していただけますか?

お問い合わせは「アイテムしごとと探検隊」事務局まで

☎0120-938-989

